

『四小スキルアップ』紹介再び 実践後に 集団と個人で集約・印刷・保管

以前ご紹介した「四小スキルアップ」。毎日の積み重ねで子どもたちの「生きる力」を育てる取り組みですが、今回はその続編です。

四小では全学年で同じ目標に向けて取り組み、自己診断や振り返りを通して共通実践を進めていますが、子どもたちが記録した1ヶ月分のチェック記録はデータ化して、全校、各学年、個人の記録がプリントできるようにしています。

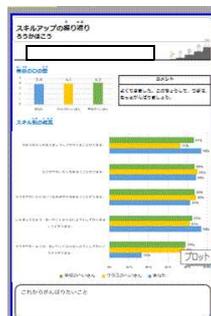
○全校の傾向データは職員会議の議題で取り上げ、反省と今後の取り組みを全職員で確認。

○各学年の集計データは担任が分析。子どもの様子を確認し、さらに取り組む内容を文章で記録。

○個人の自己評価データは印刷して児童個人のキャリアパスポートに保管し、成長の記録として蓄積。

四小スキルアップの取組は1ヶ月ごとに内容を変えていきますが、これまでに取り組んだ、あるいはこれから取り組む内容も折に触れて子どもたちに声かけを継続していきます。小さな積み重ねで、子どもたちに社会に通用する力を育てていくのです。ちなみに、7月は「姿勢」に取り組みました。夏休みがくるので、来週は早くも振り返りです。

【全員の個人票を作成します】→



6年生 通学路危険箇所ワークショップを 頑張りました

7月6日（水）、6年生が通学路危険箇所を点検してマップを作るワークショップに取り組みました。南関町の事業で、地域科学研究所から5人、町教育委員会から2人来ていただき、子どもたちは2班に分かれて、学校の東側、西側の通学路を歩いて点検しました。

児童全員がタブレットを持ち、準備された地図上に危険箇所をチェックしていきます。その画像もアップしてデータを集めました。帰校後は班ごとに危険箇所の分析と安全対策について話し合い、発表しました。日頃登校班のリーダーとして頑張る6年生ですので、危険箇所の学びは今後に生かせそうです。また、ICT活用の絶好の経験になりました。

見守りで応援してくださった保護者の野口さん、打越さん、ありがとうございました。



4年生 クリーンパークファイブとエコア熊本で 環境学習

7月7日（木）に、4年生が長洲町と南関町の施設見学に行きました。これも南関町の事業です。

朝から子どもたちは家庭ごみの袋を持参し、出発前にごみ収集のパッカー車に袋を入れる体験をしました。そして、町民バスでその車を追いかけると、着いたのは長洲町のクリーンパークファイブ。ごみを集めて処分する様子を見たり説明を聞いたりして、理解を深めました。リサイクル等の説明によく聞き入っていました。次は校区に戻ってエコア熊本の見学です。ここは最終処分場ですが、広い敷地に埋め立てられている様子を知ることができました。



子どもたちはごみ処理について学ぶだけでなく、さまざまな工夫や働く人の思い、願いを知ることができました。これからの生き方につなげていきます。

子どもたちはごみ処理について学ぶだけでなく、さまざまな工夫や働く人の思い、願いを知ることができました。これからの生き方につなげていきます。

